

令和7年度 学校経営計画書

石川県立輪島高等学校
校長 平野敏

1 教育目標（目指す生徒像）

グローバルな視野を持ち地域に貢献できる自立した社会人の育成

《校訓》

- ① 誠実：あたたかい心のふれあいを大切にし、自分に正直に生きる 【すなおな心】
- ② 霸気：困難から逃げず、高い志を掲げ自信をもって最後まで敢然と進む 【あかるい心】
- ③ 努力：能力を最大限に発揮し、創意工夫しながら、たゆみなく努力する 【まじめな心】

2 中・長期的目標（経営方針）

(1) 学校の現状(地域等からの要望)

- ① 生徒の学力差に対応した深い学びを目指し、多様な進路志望を実現するための力を養成する指導が求められている。
- ② 生徒の規範意識を醸成しつつ主体性と協働性を高め、自立した社会人となるための能力を育成する指導が求められている。
- ③ 産・官・学界の連携のもと、恵まれた地域資源を活用し、地域全体の教育力向上にも資する教育活動が求められている。
- ④ 創造的復興に主体的に関わり、将来の街づくりの中核を担う力と意欲を持った人材の育成が求められている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 自他の個性を尊重し、主体的に地域と関わり、グローバルな視野を持って積極的に地域に貢献しようとする意識を高める。
- ② 習得した基礎的基本的な知識・技能をいかして思考を深め、判断し、適切に表現・実践できる能力を養成する。
- ③ 論理的思考力及び総合的実践力を高め、互いに切磋琢磨して自己実現を果たす集団作りに努める。
- ④ 地域課題の克服や創造的復興の実現に向けて探究し、防災意識を高め、その成果を広く世界に向けて発信する力を育成する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 校長の学校経営方針のもと、全教職員が学校経営参画意識を持って主体的かつ協働的に教育活動に取り組めるよう、組織的教育力を高める。
- ② 地域・保護者との連携を深め、課題に対して丁寧かつ速やかに対応し、開かれた学校経営を推進する。
- ③ 教職員一人ひとりが校外・校内研修によって学習指導や生徒指導における専門性を高め、全教員が協働して学校全体の教育力を向上させる。
- ④ ワークライフバランスを考え、多忙化改善の具体的取組を実践する。
- ⑤ 予測困難な社会の変化に臨機応変に対応し、いかなる局面においても教職員一人ひとりが自ら主体的に考え行動する姿を生徒に示す。

3 今年度の重点目標

(1) 学びがあり進路実現できる学校

- ① 生徒が集中して学習に取り組める環境を整備し、個々のライフプランに応じた適切な指導を行う。
- ② 「コア輪島」「夢道場」などの自主学習活動を通して、生徒が主体的かつ発展的に学ぶ姿勢を育成する。
- ③ 教員の授業力を高め、教科横断的な授業を取り入れ、3年間を見通した組織的な教科指導と進路指導の実践を図る。

(2) 地域と共に人間力を向上できる学校

- ① 部活動については、生徒教職員自ら活動場所や活動内容に創意工夫を加え実施するとともに、再編や地域展開も推進する。
- ② 学校行事を通して、他者を思いやり個々の多様な価値観を理解しながら、よりよい人間関係を築こうとする心を育成する。
- ③ 「ふるさと創生」に特化した「街プロ」を外部機関と連携しながら充実させ、地域貢献意識の向上と未来を創造し変える力の育成を図る。
- ④ 小中学校との生徒間交流事業や教員研修、各種団体との連携を通して、「オール輪島」で生徒を育てる。
- ⑤ 地域教育の中核を担う学校として、被災経験から得た経験と知識をいかして、防災意識の向上や防災教育の推進に努める。

(3) 多忙化改善を積極的に実現する学校

- ① 生徒、教職員とともにセルフマネジメントに対する知識や意識を高め、新しい時代に対応できる行動力の向上に努める。